

団塊 サプリ

……… 観光案内 ………

世界回った経験生きる

街をのんびり散策する「街歩き」にはびったりのシーズン。十九日から福岡市の博多部で始まる街歩きイベント「博多情緒めぐりキャンペーン」で観光ガイドを務める。

YMCA（キリスト教青年会）職員として、さまざまな国際交流に携わった。福岡市の「NP

角 正信さん (60)

= 福岡市早良区、NPO法人常務理事

〇・ボランティア交流セ「ンター」が開所した二〇〇二年、五十四歳で引退。「世界を見つめ、地域で生きる」と故郷の福岡へ戻り、特定非営利活動法人（NPO法人）の活動を支援する仕事に就いた。

郷土をもっと知りたいと、昨年「福岡市観光案内ボランティア」に応募。研修を終え、現在は博多町家ふるさと館（同市博多区冷泉町）などで観光ガイドを務めている。

ガイドを始めて、「街歩きが散歩と違い、地域を再発見でき、愛着も深まる」と実感。四季の移ろいを感じられ、体にも良いので、地域住民にも参加を呼び掛けている。

「情緒めぐり」の準備期間は長く、五月から勉強会を重ねてきた。地元の人も知らない「名所」の知識も身につけた。準備は大変だが、「ガイドを終えて、参加者にまた来たいと言われたときの達成感は大きい」と顔をほころばせる。

「その人の人生経験で、誰でもオリジナルのガイドができると思う。世界を回り、さまざまな地域を歩いてきた経験が、福岡の良さを伝えるのに生きている。今年の新たな出会いが楽しみです。」



博多町家ふるさと館でガイドをする角さん